

PALESTINE FILM FESTIVAL, in OTSU

PALESTINE CINEMA DAYS

Around
the World 2025



パレスチナ・フィルム・フェスティバル in 大津

日時 2025 11/2 13:30-

会場 大津市市民活動センター
(大津市浜大津 4-1-1 明日都浜大津 1 階)

入場 無料

定員 各回 35 名 (予約優先)

申込 右の QR コード

または 077-527-8661

*協力・大津市市民活動センター

月曜～土曜 9:00-19:00

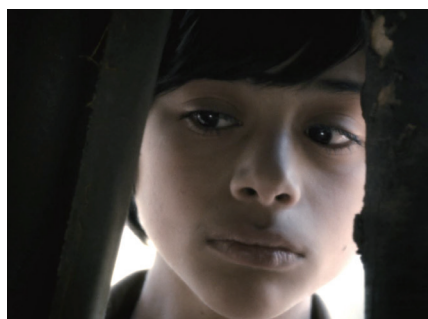


Jenin, Jenin (13:30-)

ジェニンジェニン

Mohammad Bakri, 54 min

2002 年、イスラエル軍によるジェニン難民キャンプ侵攻の際、ジャーナリストの立ち入りが禁止され、戦争犯罪容疑が浮上しました。映画監督のモハメッド・バクリは、住民の証言を記録し、沈黙させられた人々に声を与えるためにキャンプに入りました。この映画は上映禁止となり、法廷闘争と兵士からの非難が巻き起こりました。数年後、イスラエル最高裁判所は上映禁止を覆し、包囲されたまちの生々しい記録を再公開しました。



When I Saw You (14:45-)

あなたをみたとき

Annemarie Jacir, 98 min

1967 年、ヨルダン。11 歳のタレクは戦争で父親と離れ離れになり、母親と共に、難民キャンプでパレスチナへの帰還を待ち望んでいました。落ち着いた気持ちと再会への切望を抱えながら、タレクは解放運動グループと出会います。彼らとの旅は彼の人生を変えました。若き理想主義と政治的覚醒が変化への道を灯す瞬間を捉えています。



The Dupes (16:45-)

太陽の男たち

Tewfik Saleh, 107 min

ガッサン・カナファーニの短編小説を原作とする本作は、アブ・カイス、アサド、マルワンという 3 人のパレスチナ難民がレバノンの難民キャンプからクウェートへの脱出を試みる物語です。砂漠の太陽の下、給水車に隠れていた彼らは、密輸業者が時間通りに戻らなかったために窒息死します。悲劇は、「なぜ彼らはタンクの壁を叩かなかったのか？」という心に深く刻まれる問いとともに幕を閉じます。

*すべて日本語の字幕つきです。*何作品でもご鑑賞いただけますが、上映途中での入退室はなるべくご遠慮ください。

主催 Filmlab Palestine

共催 (五十音順) AFZ Japan 推進チーム / NPO 法人 HCC グループ
(フェアトレードショップねこのひたい) / 常慶寺 / ZENKO 滋賀 / 脱原
発・滋賀☆アクション / 福賢寺 / 平和と市民自治のまち大津をともに
つくる会 / 辺野古新基地ストップ滋賀の会 / なかまユニオン滋賀分会

協力 大津市中央学区『人権・生涯』学習推進協議会
大津市市民活動センター
ギャラリー Q

